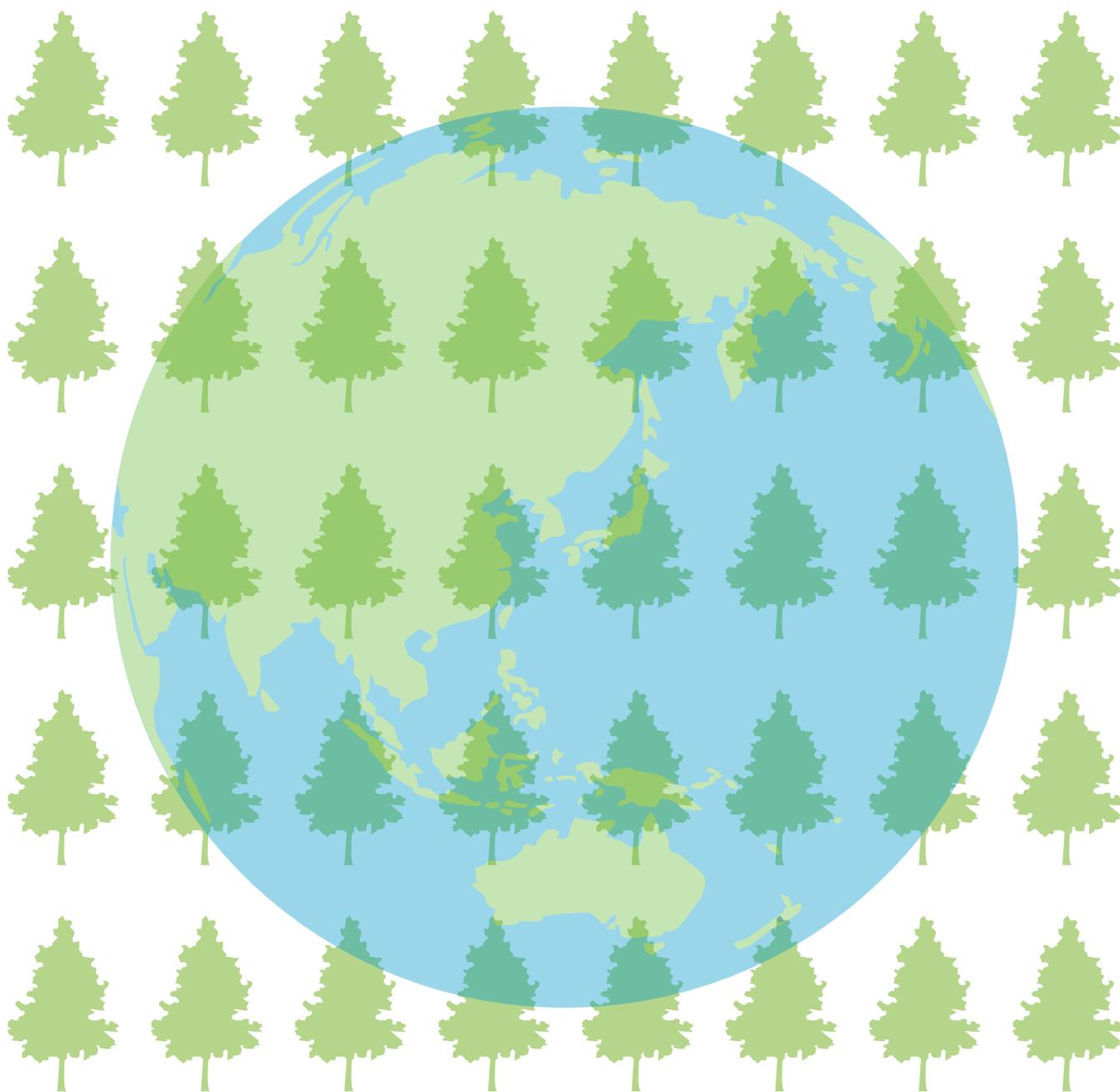


Environmental  Report

環境報告書 2021

Environmental Report Environmental Report Environmental Report



目次

ごあいさつ P.1

会社概要 P.2

環境基本方針 P.3

環境目標・実績 P.4

2020年度環境負荷低減の取り組み P.5～P.8

地球温暖化・省エネルギーの取り組み

省資源・廃棄物削減の取り組み

- 水資源の有効活用
- 廃棄物削減の取り組み

化学物質排出削減の取り組み

マテリアルフロー P.9

環境関連商品 P.10

2020年度拠点ごとの活動状況 P.11～P.21

ダイニックは、製品の開発から廃棄まで 常に環境保全を考えた企業活動を推進しています。

暮らしを「豊かに」そして「快適に」彩ることがダイニックのテーマです。

ダイニックグループは、住みよい地球に向かうための環境基本方針を常に心掛け、技術と環境との調和を踏まえた、環境にやさしい企業活動に日々努めております。

国内にある5つの工場では、すでに省エネルギー設備導入や再生可能エネルギーの利用推進などカーボン・ニュートラルに向けた活動を行ってきました。これからもこの活動を強化し継続していくとともに、生物多様性に配慮した商品設計や保全活動を推進してまいります。

1987年に開館した天究館では、多賀町と協力し天体観望会やプラネタリウム上映を通して環境啓発活動を継続しています。

国内外のグループ会社におきましても、省エネルギー設備の導入や生物多様性保全の取組みなどを推進しております。

今後も信頼される企業であり続けるために、次世代に向けて、全従業員が一丸となって環境対策への取組みを強化し、地球環境と生活環境に配慮した環境関連商品の開発に取り組み、地球環境保全の実現に貢献する企業活動を推進してまいります。



令和3年8月

ダイニック株式会社
代表取締役社長

小田英伸

会社概要

商号	ダイニック株式会社 DYNIC CORPORATION
創立	1919年8月18日
資本金	57億9,565万円
株式	東京証券取引所一部上場
売上高	254億円（グループ含み358億円） （2021年6月25日現在）
従業員	629名（グループ含み1,269名） （2021年6月25日現在）
本社	京都本社：〒615-0812 京都市右京区西京極大門町26番地 電話 075-313-2111（代） FAX 075-313-2116
	東京本社：〒105-0004 東京都港区新橋6-17-19 新御成門ビル 電話 03-5402-1811（代） FAX 03-5402-3146
営業所	札幌、東京、名古屋、大阪、福岡、香港、シンガポール、米国、タイ、英国、中国、インドネシア、チェコ（グループ含む）
工場	滋賀、埼玉、王子、富士、真岡、米国、タイ、英国、中国、インドネシア、チェコ（グループ含む）
関連会社	国内7社、海外11社
事業内容	書籍装幀用クロス、印刷・ビジネス用各種クロス、パッケージ用化粧クロス、銀行通帳用クロス、フィルムコーティング製品、表示ラベル用素材、複合フィルム、プリンターリボン、名刺プリンタ、文具紙工品、磁気関連製品、有機EL用水分除去シート、カーペット、壁装材、天井材、ブラインド、自動車内装用不織布・カーペット、フィルター、産業用ターポリン、テント地、雨衣、産業用不織布、容器密封用アルミ箔・蓋材、各種紙管紙器、パップ剤用フィルム加工、食品鮮度保持剤、接着芯地、ファンシー商品、商品等運送・保管他（グループ含む）

環境基本方針

地球温暖化をはじめとする地球規模の環境問題が深刻化するなか、カーボン・ニュートラルや循環型社会の構築に取り組むことが求められています。ダイニック株式会社は「環境基本方針」を以下のとおり定め、環境対応に取り組んでおります。

【ダイニックの環境基本方針】

ダイニック株式会社は、環境保全への取り組みを重要な経営課題と認識し、国内外の環境関連法規制を遵守するとともに、環境負荷のより小さい製品を市場に提供していくことがメーカーとしての責任と考えている。その考えを具体的に実行するため、開発、資材調達、製造、販売、流通、及び廃棄のそれぞれの段階で、以下の項目を徹底推進する。

- (1) 製品のライフサイクルを通じ、事業活動のすべての段階で環境負荷低減と、生物多様性保全等への配慮に努める。
- (2) 省エネ、廃棄物削減に積極的に取り組み、環境汚染の防止に努める。
- (3) 有害な化学物質により環境を損なうリスクを低減する。
- (4) 環境に関する事業活動についての情報を開示し、地域社会等と協調しながら、環境保全活動を積極的に推進する。
- (5) 環境保全に対する教育を徹底し、環境への意識向上を図る。

ダイニック株式会社

代表取締役社長 山田 英伸

環境負荷低減の取り組み

製品の設計段階から、環境負荷の少ない素材、再利用しやすい素材を考慮することはもちろん、エネルギー負荷の少ない製造方法や、省資源、長寿命化を考慮した製品設計を行なっています。製造段階では、日々の製造現場において、省エネルギー・廃棄物削減に努め、環境負荷低減に取り組んでいます。販売段階では、当社製品をご利用いただくことで、お客様の環境負荷が低減できる環境関連商品を提案し、地球環境保全に貢献する取り組みを行なっています。

地球温暖化対策・生物多様性保全の取り組み

ダイニック全体で省エネルギー活動に取り組み、二酸化炭素の排出を削減することにより、地球温暖化対策を推進しています。また、生物多様性保全についても、持続可能な社会構築に貢献し、地球環境と共生できる企業を目指して取り組んでいます。

環境目標・実績

ダイニックでは 環境中期目標（2021年度～2023年度）を設定し、推進していきます。
前期環境中期目標（2018年度～2020年度）の最終年度である2020年度取り組み実績は、以下の通りです。

2020年度の環境目標・実績一覧

取組項目	単位	2020年度				2021年度 目標	2023年度 最終年目標	
		目標	実績	自己 評価	関連 ページ			
温暖化対策 省エネルギー	CO2 排出量削減	t-CO2	2013年度比 7%削減	-18.9%	◎	P5	2013年度比 8%削減	2013年度比 10%削減
	エネルギー 原単位の改善	原油換算 ℓ/km	2017年度比 3%改善	-0.4%	×	P5	2017年度比 4%改善	2017年度比 6%改善
省資源	水の使用量 削減	千t	2017年度比 3%削減	-3.1%	○	P6	2017年度比 4%削減	2017年度比 6%削減
廃棄物の3R	廃棄物量 の削減	t	2017年度比 3%削減	-7.3%	◎	P7	2017年度比 4%削減	2017年度比 6%削減
	産業廃棄物 最終処分量 の削減	t	2017年度比 3%削減	+44%	×	P7	2017年度比 4%削減	2017年度比 6%削減
環境汚染防止	PRTR対象 化学物質 排出量削減	t	2016年度比 20%削減	-27.5%	○	P8	2016年度比 25%削減	2016年度比 35%削減
環境関連商品	対売上比率 の向上	%	2017年度比 1%向上	+6.6%	◎	P10	2020年度比 0.5%向上	2020年度比 1.5%向上

<自己評価凡例>

◎：目標の2倍以上達成

○：目標を達成

△：目標は達成できなかったが目標に近づいた

×：目標に向けた改善ができなかった

2020年度 環境負荷低減の取り組み

地球温暖化・省エネルギーの取り組み

生産活動ではエネルギーを消費し、製品を造りだしています。これに伴い、温室効果ガスであるCO₂を排出します。CO₂の排出削減を目的に、生産工程でのエネルギー使用量の削減に取り組んでいます。各種省エネ設備の投資として、工場天井照明のLED化、蒸気ボイラ、変圧器、空調機の高効率型への変更、コンプレッサーのインバータ化、蒸気配管改修等を計画的に実施しており、また設備の新設や改善などのエネルギー効率を良くする生産性改善も実施してきました。

2020年度は生産数量が5.3%減少に対し、エネルギー使用量は前年度比2.0%減少、CO₂排出量は前年度比2.4%減少しましたが、エネルギー原単位は前年度比3.5%の悪化となりました。

2021年度は、生産性改善や省エネ設備投資をさらに進め、さらなる改善に取り組んでゆきます。

原油換算エネルギー使用量 (kℓ)



CO₂ 発生量 (t-CO₂)



エネルギー原単位 (ℓ/km)



2020年度 環境負荷低減の取り組み

省資源・廃棄物削減の取り組み

● 水資源の有効活動

生産工程で使用する洗浄水や、冷却水などのリサイクルを推進し、水資源の有効活用に取り組んできました。

2020年度の総水資源投入量は前年度比88.8%と、10%以上の減少となりました。また、総排水量も前年度比89.4%と10%以上減少しました。

2021年度も、無駄な水資源の利用を見直し、総水資源投入量を抑制するべく活動します。

総水資源投入量 (千トン)



総排水量 (千トン)



2020年度 環境負荷低減の取り組み

省資源・廃棄物削減の取り組み

● 廃棄物削減の取り組み

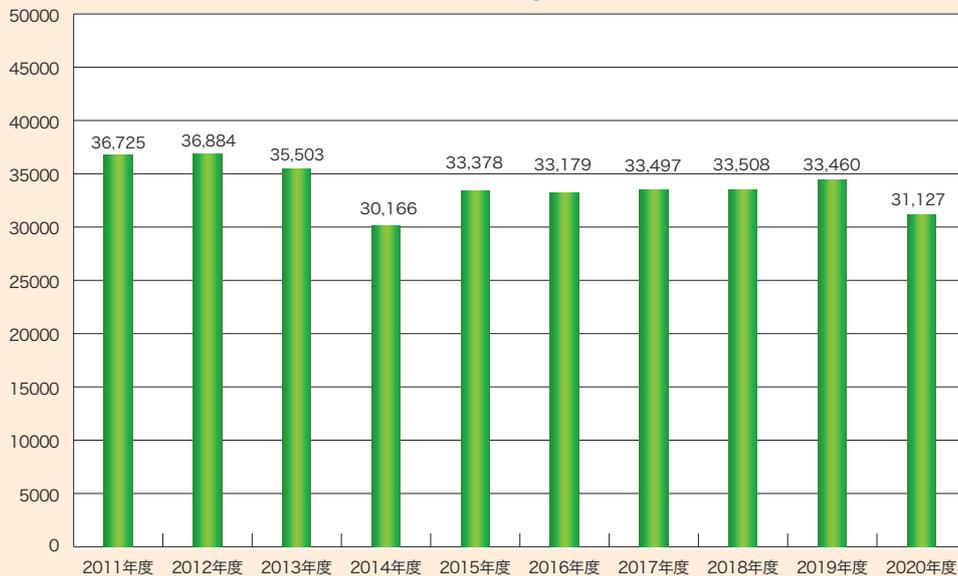
地球環境保全のため、廃棄物の削減に取り組んでいます。廃棄物の発生を抑えるだけでなく、資源の有効利用の観点から、リユース・リサイクルを進めてきました。

2020年度の総物質投入量はコロナウイルス感染拡大に伴う生産量の大幅な縮小により、9.7%減の31,127トンとなりました。総廃棄物量は前年度比5.3%減の4,692トンとなりました。

廃棄物最終処分量はリサイクルの大幅な推進ができたことから、前年度比16.7%減少となりました。

2021年度は、総廃棄物量、廃棄物最終処分量とも、さらに削減できるよう、効率的な生産を続けます。

総物質投入量 (トン)



廃棄物量 (トン)



2020年度 環境負荷低減の取り組み

化学物質排出削減の取り組み

化学物質排出把握管理促進法（P R T R法）に従い、製造工程で使用している化学物質の環境への排出量の届け出を行うとともに、削減に努めています。

2020年度の排出量は生産量変動などの影響を受け、前年度比14.6%減少しました。移動量も16.7%と大幅に減少しました。

2021年度は総排出量を中長期計画目標である2016年度比25%削減を目指し取り組んでいきます。

PRTR対象物質総排出量（トン）



PRTR対象物質総移動量（トン）



2020年度の事業活動における 環境負荷の全体像（マテリアルフロー）

当社企業活動・生産活動のために投入した原材料、エネルギー、水資源（INPUT）に対して、各種排出物（OUTPUT）から環境負荷を把握し、効率的な事業活動による資源の有効活用に取り組んでいます。

コロナウイルス感染拡大に伴う生産量の大幅な縮小や、省エネルギー活動、その他環境負荷低減活動により、全項目において、改善ができました。

2021年度は、資源の有効活用にさらに取り組んでいきます。

INPUT	
エネルギー使用量	12598 kℓ (原油換算)
電力(買電)	227940 MWh
LNG	1324 ton
都市ガス	3046 千m ³
A重油	267 千ℓ
LPG	28 ton
ガソリン	7 千ℓ
水使用量	540 千ton
地下水	337 千ton
工業用水	156 千ton
上水	48 千ton
原材料総投入量	31127 ton

事業活動

ダイニック製品群

出版文具関連
情報関連
不織布関連
住宅・インテリア関連
工業用途関連
特殊材料加工
包材関連

OUTPUT	
温室効果ガス(CO₂排出)	
生産からの排出	22960 t-CO ₂
製品物流からの排出	1046 t-CO ₂
※製品物流は 関連会社に委託しています。	
大気への排出	
PRTR対象物質	269 ton
NOx	13.1 ton
SOx	0.3 ton
ばいじん	0.2 ton
水系への排出	
排水量	440 千ton
BOD	0.3 ton
COD	1.2 ton
土壌への排出	
	なし
化学物質(PRTR対象物質)	
環境への排出	269 ton
廃棄物としての移動	191 ton
廃棄物総発生量	
焼却・埋処分量	1233 ton
リサイクル量	1807 ton
有価物量	1653 ton
リサイクル率	74 %

環境関連商品

ダイニック株式会社は社会の発展や、より豊かな暮らしの創造に貢献するさまざまな商品の開発に、鋭意取り組んでいます。そしてそのような新商品を社会に提供することが、事業を通じた社会への貢献につながるものと考えています。当社では、「地球環境と生活環境に配慮した商品」を環境関連商品と定義しています。

地球環境に配慮した商品

【環境への負荷を低減した商品】

■ 脱塩ビ・脱プラスチック・脱溶剤各種商品

非塩ビファイル(エコファイル)、オレフィン系クロス、※紙製磁気カード、EVAコンテナー、ファイル・バインダー・手帳用表紙クロス水性化等

■ 再生紙、再生繊維、再生樹脂を使用した各種商品

再生紙使用紙クロス、教科書用紙クロス、背貼り用紙クロス、※再生ポリエステル使用カーペット等

■ 持続可能な天然資源を使用した商品

※FSC認証紙クロス(エパロン)、レーヨン100%カラー不織布(パネロンカラーシート)等

【処理処分を考慮した商品】

■ 廃棄のし易さを考慮した商品

ラップ・アルミホイルのカット用紙刃、乳飲料・紙蓋材等

■ 省資源・3R(Reuse,Recycle,Reduce) に貢献する商品

ストレッチ壁紙、トナーカートリッジ再生、詰替え用サブカセット、自動車天井内装材(軽量化)、有機EL乾燥剤(長期使用性)等

生活環境に配慮した商品

■ 快適な空間を提供する商品

パネロン脱臭フィルター、抗菌消臭壁紙、マイナスイオン壁紙、抗ウイルス壁紙、空気清浄機用フィルター材、不織布床防音材等

■ 健康・食品の鮮度保持に役立つ商品

耐水食品包材、食品鮮度保持剤、※熱転写インクリボン、※ニックセブン表示用ラベル(エコテックス登録)、パップ材の離型フィルム等

■ 抗菌・消臭を付与した各種商品

抗菌装丁用クロス等

※印の商品は第三者認証商品です

環境関連商品売上占有率 (%)



◎これら環境関連商品の個別の内容説明は、当社ホームページに掲載していますのでご覧ください。

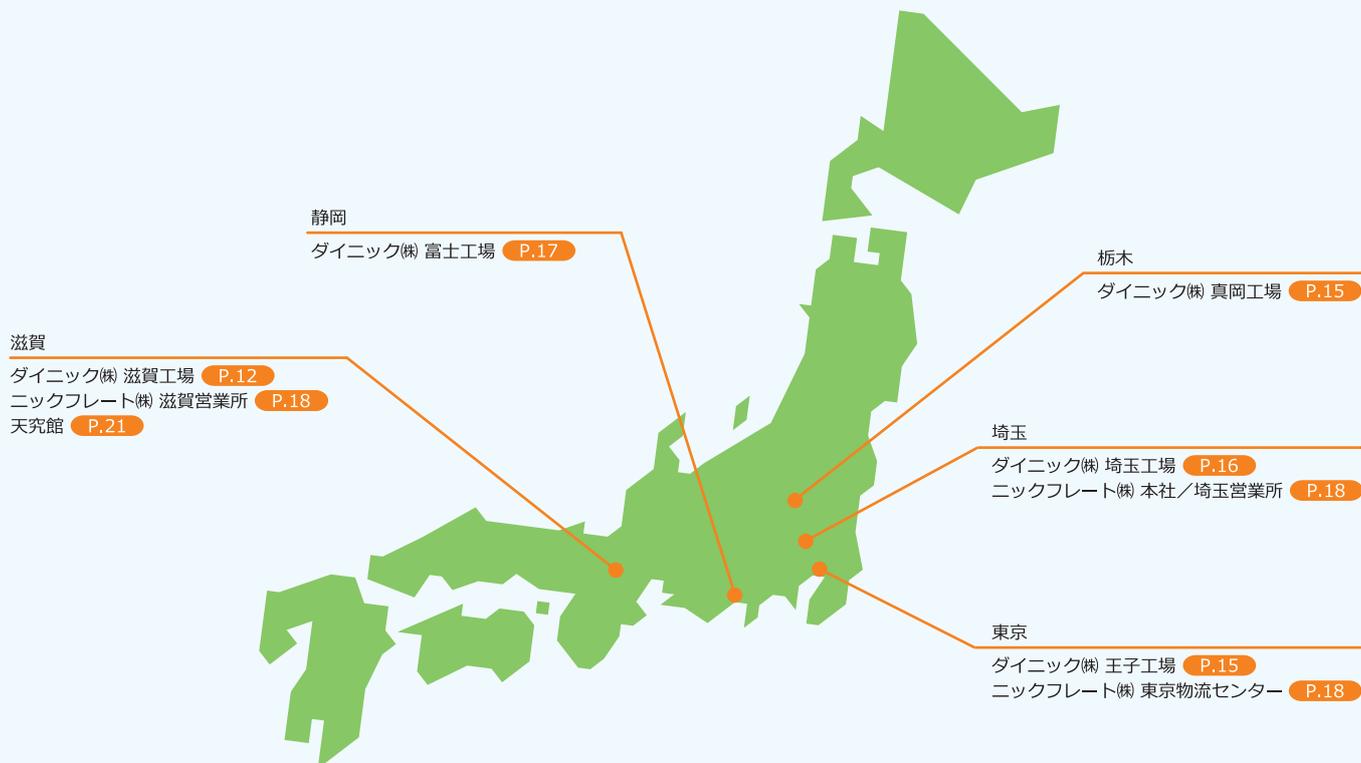
当社は「環境関連商品で社会に貢献する」をキーワードに積極的に商品の開発を行ってきました。

その成果として、2020年度の環境関連商品の当社売上に占める比率は35.8%で目標を大幅に上回りました。

これからも、環境関連商品売上占有率を上げてゆくことで、社会に貢献してゆきたいと考えております。

2020年度 拠点ごとの活動状況

活動状況を紹介している国内拠点



活動状況を紹介している海外拠点



2020年度 拠点ごとの活動状況

滋賀工場 ～ハイテクと自然との調和をめざすモデル工場～

滋賀工場は、琵琶湖水系の清らかな水と澄んだ空気が育んだ緑の山々に囲まれた、約35万平方メートルという広大な敷地を持つダイニック最大の工場です。ここではダイニック独自の高度なテクノロジーをバックボーンにして、ブッククロス、通帳用クロス、壁紙、織物芯地などのダイニックの主要製品の数々が生産されています。

豊かな自然環境の恩恵を受けたこの工場はまた、自身も自然環境との調和、およびその保全を重視してきました。排水処理を完備し、資源のリサイクル活用にも力を注ぎ、省エネ・無公害をテーマとしたモデル工場として高い評価を得ています。



環境指数の実績

項目	省エネ原単位 (kℓ/km)	CO ₂ 排出量(t)	水資源投入量 (kℓ)	総廃棄物量(t)	最終処分量(t)	PRTR対象物質 排出量(t)
実績	0.06184	8951	156	1562	375	32
前年比	+1.6%	+5.1%	-10.1%	-9.3%	-29.5%	-10.0%

環境負荷低減のために ～省エネルギー設備導入～

●高効率型変圧器へ更新

滋賀工場では、1000KVA 変圧器を高効率型に今年度更新いたしました。

更新により、電力損失、CO₂ 排出量が大幅に削減できただけでなく、運転騒音も小さくなりました。



●高効率型ルーフファンへ更新

第一工場のルーフファンを高効率機種に更新しました。水の気化熱を利用した気化式冷風機もあわせて17台設置したことで、夏場には外気よりも6℃も暑くなる事があった工場内が、外気よりも屋内の作業域の方が涼しいと感じるレベルまで涼しくなり、従業員にも好評を得る事ができました。



2020年度 拠点ごとの活動状況

生物多様性保全の取組・地域とともに

●ゴミゼロ清掃活動

滋賀工場の地元多賀町では、滋賀県が環境美化の日と定める5月30日（ゴミゼロ）の前後に清掃活動が毎年行われています。

2020年度はコロナウイルス感染拡大防止の観点から、町内一斉清掃活動は中止となりましたが、当社単独で、6月1日（月）に多賀町の国道306号線沿いのゴミゼロ清掃活動を実施しました。



滋賀工場の地元多賀町では、滋賀県が環境美化の基準日と定める12月1日の前後に、芹川兩岸の清掃活動を毎年行っています。

当社もこの活動に賛同し、11月28日（土）の芹川清掃活動に今年も参加しました。



●森林保全活動



県内各地において、行政・民間による様々な自然保護施策が行われています。当社が加盟している（公益社団法人）滋賀県環境保全協会主催の栗東市「金勝（こんぜ）生産森林組合」保有林（こんぜの里）での森林整備ボランティア活動に賛同し、10月31日（土）に、会員企業として社員が参加しました。

2020年度 拠点ごとの活動状況

生物多様性保全の取組・地域とともに

●敷地内保全活動

滋賀工場内にある池の周囲には、工場建設時に植樹された桜の木が育ち、毎年春には桜が咲き、素晴らしい景観となります。

しかしここ数年、桜の木へのつる草の巻き付きが目立つ等、景観が損なわれてきました。生物多様性の保全や、環境意識向上のため、社員による整備活動を行い、見事に満開の桜を咲かすことができました。



●森林保全

滋賀工場の敷地内には1980年頃に植樹されたスギ林約2.8ヘクタールがあります。このスギ林を保全するために定期的に管理・間伐を行っています。

2016年頃に間伐された杉材が、2019年4月に竣工した多賀町中央公民館の建設資材の一部に使われています。

間伐作業は、びわこ東部森林組合様、滋賀県と、多賀町から補助とご協力をいただき実施しました。



多賀町公民館（外観）



多賀町公民館（内観）



2020年度 拠点ごとの活動状況

王子工場 ～確かな品質管理で、信頼を得ています～

王子工場は、アルミ箔蓋材と塗工紙を製造しています。アルミ箔蓋材は、英国より「レクタラシール(登録商標)」(加工アルミ箔による容器封緘材)の技術を導入して以来この分野での高いシェアを獲得してきました。これは、容器に高周波で加熱して接着する独自の技術であり、食品などの蓋材シール方法としては画期的なものとして、お客様の商品の品質保持に役立っています。また、塗工紙・フィルム分野では、豊富なノウハウを基盤に最新の大型塗工機を駆使して、多様化するニーズに対応しています。私たちは、常に時代を先取りした多彩な加工技術で、「つぎ」へのチャレンジを行なっています。



環境指数の実績

項目	省エネ原単位 (kℓ/km)	CO ₂ 排出量(t)	水資源投入量 (kℓ)	総廃棄物量(t)	最終処分量(t)	PRTR対象物質 排出量(t)
実績	0.0393	1496	20	455	123	35
前年比	+1.7%	-3.5%	-7.0%	-6.5%	-19.2%	+2.9%

環境負荷低減のために ～省エネルギー設備導入～

●高効率型空調機の導入

新たに導入する印刷機の稼働に備え、印刷工場用空調機を高効率型ヒートポンプチラーへ更新しました。本設備の導入により快適な作業環境確保と大幅な消費電力の削減を期待しています。



真岡工場 ～管理のゆきとどいた作業環境で、安全な品質をお届けしています～

真岡工場は、アルミ箔蓋材をはじめ急速に多様化する蓋材のニーズに対し、アルミ箔加工の技術基盤を活かし、フィルムとの複合蓋材への対応を実現して、食品や産業用の軟包材分野で厚い信頼をいただいています。

私たちは、保有技術のいっそうの活用をはかり、「つぎ」へのチャレンジを行なっています。



環境指数の実績

項目	省エネ原単位 (kℓ/km)	CO ₂ 排出量(t)	水資源投入量 (kℓ)	総廃棄物量(t)	最終処分量(t)	PRTR対象物質 排出量(t)
実績	0.009498	2031	95	609	77	20
前年比	+2.3%	-2.0%	-5.0%	+9.6%	-2.4%	-13.0%

2020年度 拠点ごとの活動状況

埼玉工場 ～未来志向の高度な複合技術と新鋭のFAライン～

埼玉工場ダイニックの東の生産拠点である埼玉工場は、技術開発に力をおいた未来指向の工場として稼働しています。高度な複合技術と新鋭の自動化・FA（Factory Automation）ラインを駆使して、情報業界の最先端を支えるハイテク製品から、生活に密着した産業製品まで幅広く網羅。その生産体制は6つの工場から成り立っており、それぞれ紙クロス、ビニルクロス、インクリボン、FFC（精密フィルムコーティング）、カーペット、不織布を担当しています。地域・環境対策にも怠りはなく、緑化推進や産業廃棄物のリサイクルシステムは、公共機関などからも高い信頼をもって認知されています。



環境指数の実績

項目	省エネ原単位 (kℓ/km)	CO ₂ 排出量(t)	水資源投入量 (kℓ)	総廃棄物量(t)	最終処分量(t)	PRTR対象物質 排出量(t)
実績	0.04459	10068	267	1988	649	182
前年比	+6.0%	-7.6%	-14.3%	-5.6%	-8.8%	-18.0%

環境負荷低減のために ～省エネルギー設備導入～

●ボイラー設備更新

工場建屋ごとに設置されていたボイラー設備を1か所に集約し更新しました。設置個所を一か所に集約したことで、メンテナンスにかかる費用を抑制できたほか、効率的な運転も可能となりました。

この更新により大幅なCO₂削減効果を見込んでいます。

ボイラー設備更新に合わせて、稼働状況の見える化を行いました。蒸気口ス発生個所特定など不具合対応が迅速にできるようになりました。最適な稼働設定などにより、省燃料効果を期待しています。



●太陽光発電パネル設置

生物多様性に配慮し、緑地への影響の少ない工場建屋屋上に、太陽光発電パネルを設置しました。

パネルの設置により、屋根への直射日光を減らすことができ、夏場の空調電力削減にもつながりました。



2020年度 拠点ごとの活動状況

埼玉工場 ～未来志向の高度な複合技術と新鋭のFAライン～

生物多様性保全の取組・地域とともに

●周辺清掃活動

毎月工場周辺道路の清掃活動を行っています。2020年度も12回活動し、100ℓ以上のゴミを回収しました。



富士工場 ～再生の出来る環境に優しい製品を作り出しています～

富士工場では、クリーンな作業環境と厳しい品質管理のもとで食品用の紙管容器、感光材用の紙管、産業用塗工紙などを製造しています。

私たちは、地球環境にやさしい素材の追求で、「つぎ」へのチャレンジを行っています。



環境指数の実績

項目	省エネ原単位 (kℓ/千円)	CO ₂ 排出量(t)	水資源投入量 (kℓ)	総廃棄物量(t)	最終処分量(t)	PRTR対象物質 排出量(t)
実績	0.000554	283	2	78	8	0
前年比	-1.0%	-17.7%	+21.2%	-10.1%	+54.2%	—

生物多様性保全の取組・地域とともに

●湧水保全活動

富士山のふもとに位置する富士工場は、敷地内に湧水があります。周辺の美化活動を行い、湧水の保全に努めています。



◀活動中に見つけた「ナガミヒナゲシ」

きれいな花をつけますが、ヨーロッパ原産で非常に強い繁殖力を持っています。

花期が終わったタイミングで、種子を回収し焼却処分しました。

2020年度 拠点ごとの活動状況

ニックフレート株式会社

ダイニックグループの動脈。大型、中型、小型のトラックを駆使して関東・関西に路線網を確立、2007年12月に鉄道貨物運送の許可を取得して通運事業に参入、さらなる飛躍をめざしています。1971年設立。

本社

〒359-0021

埼玉県所沢市東所沢1-3-13 東所沢セントラルハイツ1階

TEL:04-2944-2291 FAX:04-2944-2260

<https://www.nicf.co.jp/>



● 輸送におけるグリーン経営認証取得

輸送におけるグリーン経営認証を取得しました。

【取得事業所】



埼玉営業所



滋賀営業所



東京物流センター

【輸送に置けるグリーン経営認証とは】

グリーン経営認証とは、公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団による、環境保全を目的にした取り組みを行っている輸送事業者に対する認証制度です。この財団は輸送業界が環境に与える悪影響を少なくするため、一定のレベル以上の環境保護の取り組みを行う輸送事業者を増やすことを目的の一つとしています。弊社の主な取り組みとしては、燃費改善（昨対1%削減が目標）によるCO₂削減です。

● 環境配慮活動報告

会社として最新規制適合ディーゼル車の計画的な導入、廃車、廃棄タイヤ・バッテリーの適性処理を実施。ドライバーにはエコドライブ教育、デジタコでの運行実績の分析、各個人の燃費の把握による更なるエコドライブの実施。事務所に於いては、エアコン適性温度設定等の省エネ活動の他、使い捨て商品の購入を控え、エコマーク製品等の優先的購入等、社員全員で環境への配慮活動を実施しています。

2020年度 拠点ごとの活動状況

DYNIC USA CORPORATION

1988年、米国・オレゴン州ヒルズボローに設立。バーコード用サーマルトランスファーリボン・タグ用ファブリックシートなどを製造・販売、北米・中南米に輸出しています。

本社・工場

4750 N.E.Dawson Creek Drive, Hillsboro,
Oregon 97124, U.S.A
TEL: 1-503-693-1070 FAX: 1-503-648-1185
<https://www.dynic.com/>



環境負荷低減のために ～省エネルギー設備導入～



● VOC 処理設備更新

製造中に発生する溶剤排気ガスを燃焼分解する設備を更新しました。稼働には天然ガスを使用しますが、更新により、ガス消費量を約68%削減する事が出来ました。

生物多様性保全の取組

● 湿地保全活動

DYNIC USA の工場近くにある、ジャクソンボトム（Jackson Bottom）の清掃活動を行いました。ジャクソンボトムはオレゴン州、ヒルズボロにある、湿地保護区です。



活動に参加し始めた頃の写真

この活動は、ヒルズボロ周辺に進出した他の日本企業と共同で1997年から毎年一回行っています。2020年度はコロナウイルス感染拡大防止の観点から、開催できませんでしたが、これからも継続していきたいと思っています。

2020年度 拠点ごとの活動状況

昆山司達福紡織有限公司 / KUNSHAN STAFLEX TEXTILE CO., LTD

1993年、中国・昆山に設立。中国国内市場をはじめ、日本国内向けに接着芯地「ステーフレックス」を製造・販売、芯地ビジネスの中心的な役割を担っています。

本社・工場

中国江蘇省昆山市開發區金沙江南路2號
TEL:86-512-5763-2028 FAX:86-512-5763-2038

上海分公司

中国上海市虹橋路808号加華商務中心A棟8406室
TEL:86-21-6448-1991 FAX:86-21-6448-2267



環境負荷低減のために ～省エネルギー設備導入～

●排気ガス処理設備導入

VOC削減対策として2020年に昆山工場内各機械で発生する全ての排気ガスを収集し処理する設備を導入致しました。

近年中国国内では大気汚染対策が大幅に強化され、地域差はあるものの大幅な環境改善効果が出ています。中国環境基準に従い今後も継続した環境対策に取り組んで参ります。



2020年度 拠点ごとの活動状況

アストロパーク天究館

ダイニックアストロパーク天究館は、口径60cmの反射望遠鏡と各種観望機器を備えた民間企業初の公開天文台です。

創業以来、ブッククロスを通じて文化・教育の分野に深く係ってきたダイニックが社会貢献と文化活動の理想として1987年に開設しました。



部分日食観望会

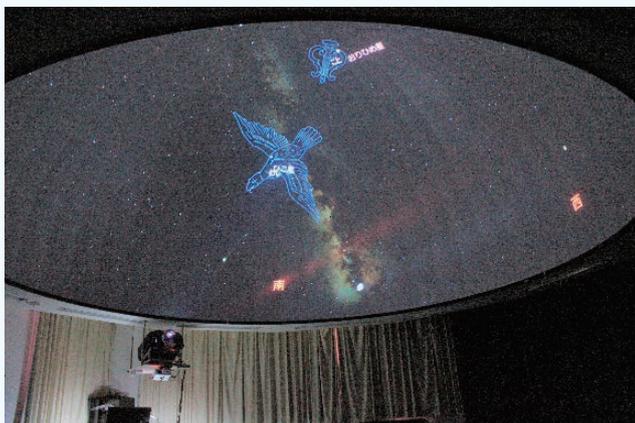
滋賀工場内にある天文台「ダイニックアストロパーク天究館」では、多賀町産業環境課の御協力により、近隣住民の方々の他多くの皆様に親しんでいただくことを目的として、天究館の天体望遠鏡を使用した観望会や、小型天体望遠鏡を各地へ運んで移動観望会などを行っています。

6月21日（日）には、部分日食特別観望会を開催し、太陽が月によりかけていくところを楽しんでいただけました。



デジタルプラネタリウム

昨年度に当社創立100周年を機に導入した、本格的なデジタルプラネタリウムも引続き大好評です。



新型コロナウイルス感染症対策

館内は常時換気を行い、CO2濃度計を設置し、継続して換気状況を確認しています。

入館の際には、検温及び手指のアルコール消毒とマスクの着用をお願いしています。





Environmental Report Environmental Report Environmental Report

『環境報告書2021』

発行：ダイニック株式会社 環境推進室

発行日：2021年8月18日